

別表 比較評価

	青梅街道ICを整備しない場合	青梅街道ICを整備する場合	青梅街道ICを整備する場合 (練馬区内に閑越方面へ出入り可能な構造)
道路交通への効果と影響	<p>外環本線の整備により環八の交通量は2割程度減少(現況6.4 5.0万台/日)し、渋滞状況は改善する 青梅街道の交通量は現況程度と変わらない</p> <p>大泉ICの利用交通量は、現況より減少し、大泉IC周辺の混雑緩和に一定効果あり (大泉IC:現況4.0 2.8万台/日) 外環本線交通量 約10万台/日</p>	<p>環八の交通量はICなしに比べさらに減少(現況6.4 4.9万台/日)し、一定の混雑緩和効果あり 青梅街道の交通量は、現況より1~2割増加し、交通負荷が増大(練馬側で現況5.0 5.8万台/日、杉並側で現況4.3 4.7万台/日)</p> <p>大泉ICの利用交通量は、ICなしに比べさらに減少し、大泉IC周辺の混雑緩和に効果あり (大泉IC:現況4.0 2.3万台/日) 本線交通量は、ICなしに比べ増加(約10.5万台/日)し、一般道からの転換効果大きい</p>	<p>環八の交通量はフルICの場合と同程度減少(現況6.4 4.9万台/日)し、一定の混雑緩和効果あり 青梅街道の交通量は、現況より約1割増加するものの、ICあり(フル)と比べれば0.3万台/日程度減少 (練馬側:現況5.0 5.5万台/日、杉並側:現況4.3 4.7万台/日) 大泉ICの利用交通量は、フルICの場合と同程度減少し、大泉IC周辺の混雑緩和に効果あり (大泉IC:現況4.0 2.3万台/日) 本線交通量は、フルICの場合と同程度(約10.5万台/日)で、一般道からの転換効果大きい</p>
利便性の向上	<p>外環本線の整備により東名方面への利便性が向上(閑越方面は現況と変化なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> 杉並区役所から 東名方面 現況50分 35分 善福寺/関町から 東名方面 現況50~55分 30~45分 練馬区役所から 東名方面 現況55分 30分 	<p>ICなしと比べ、さらに旅行時間が短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> 杉並区役所から 東名方面 現況50分 25分 閑越方面 現況30分 15分 善福寺/関町から 東名方面 現況50~55分 10~15分 閑越方面 現況20~25分 5~10分 練馬区役所から 東名方面 現況55分 30分 閑越方面 練馬・大泉ICが最寄りであり変化無し <p>ICまでのアクセス時間が短縮 IC10分圏域人口:21万人増加(両区人口の約17%) 広域の利便性も大きく向上(武蔵野市、西東京市、小平市など)</p>	<p>ICなしと比べ、埼玉方面について、さらに旅行時間が短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> 杉並区役所から 東名方面 現況50分 35分 閑越方面 現況30分 15分 善福寺/関町から 東名方面 現況50~55分 30~45分 閑越方面 現況20~25分 5~10分 練馬区役所から 東名方面 現況55分 30分 閑越方面 練馬・大泉ICが最寄りであり変化無し <p>ICまでのアクセス時間が短縮 10分圏域:埼玉方面アクセスに関し21万人増加(両区人口の約17%) 広域の利便性も埼玉方面アクセスに関し大きく向上(武蔵野市、西東京市、小平市など)</p>
生活への影響	<p>現況と変わらない</p>	<p>移転は杉並区内約100棟、練馬区内約100棟で計200棟と多数 工事中に、両区でそれぞれ約10本の街路が分断されるが、通行を確保するための迂回、切廻し等を実施。また、両区においてそれぞれ完成時に4~5本程度の街路が分断される為、付替や代替路などの対策を実施 八幡幼稚園、桃井第四小学校の約15~20m程度の位置に開口部が設置 風致地区の環境が改変</p>	<p>移転は練馬区内約100棟でフルインターチェンジと比べて半減 練馬区で工事中に約10本の街路が分断されるが、一部の街路については、工事中は切廻し覆工で、完成時には復旧により通行が確保できる。完成時に5本程度の街路が生じるため迂回等の対策を検討。</p>
周辺環境への影響	<p>現況と変わらない(換気所の設置はない) 大深度地下のシールドトンネルで整備するため、周辺の地下水等に影響を与える可能性は少ない(環境影響評価で予測・評価)</p>	<p>換気所が青梅街道両側に1箇所ずつ設置。 開削部において、浅層地下水の流れに影響が生じる可能性 人工排熱による局地的な気温上昇等の影響が生じる可能性 騒音/振動/大気/景観について、影響が生じる可能性があるため、環境施設帯や低騒音舗装など適切な対策を検討 これらについては、環境影響評価において適切な対応を検討</p>	<p>換気所が練馬区側に1箇所設置 開削部において、浅層地下水の流れに影響が生じる可能性 人工排熱による局地的な気温上昇等の影響が生じる可能性 騒音/振動/大気/景観について、影響が生じる可能性があるため、環境施設帯や低騒音舗装など適切な対策を検討 これらについては、環境影響評価において適切な対応を検討</p>
経済性(事業費)	-	ICなしに比べ、追加事業費約2000億円	ICなしに比べ、追加事業費約1000億円